

松葉採取地点の並行観察結果 及び松葉採取地点の変更について

2026年10月1日

TEPCO

東京電力ホールディングス（株）
福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所

○福島第一原子力発電所において、松葉試料の採取・測定を実施している「MP-3付近」について、松くい虫による被害※¹等により、継続的な採取・測定が困難であると判断した。そのため、新規採取地点での作業環境状況並行観察結果を踏まえ、新規採取地点への変更を実施する。

※1…年1回（4～6月頃）の頻度で、薬剤散布を実施している。

【新規採取地点の選定について】

○以下の4点を調査し、1地点を候補地点として選定を行った。

条件1：敷地北側（双葉町）エリア

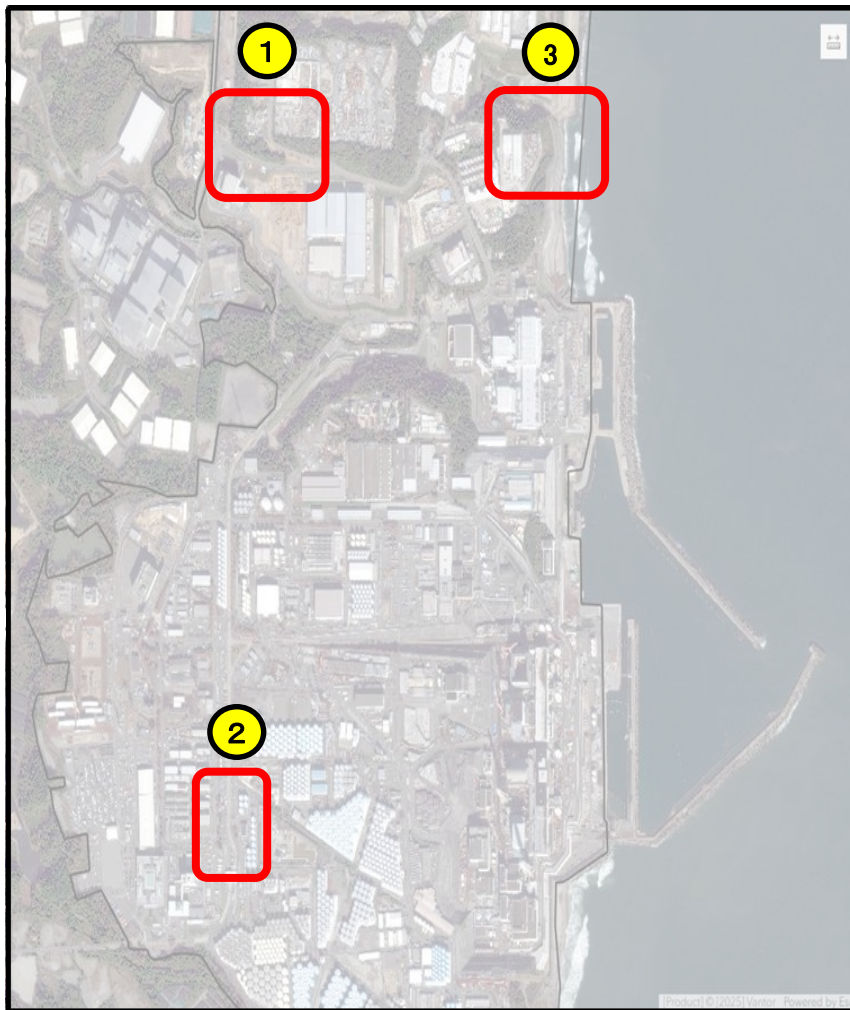
条件2：継続的な採取が可能なエリア

条件3：松の木が複数本あり、生育環境が良好なエリア

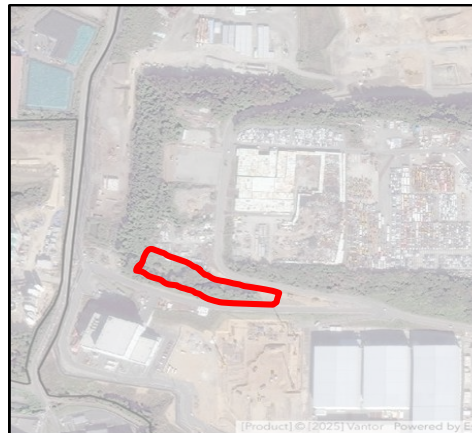
条件4：安全な採取作業を可能とするエリア

現状の採取地点と新規採取地点の位置

全体図



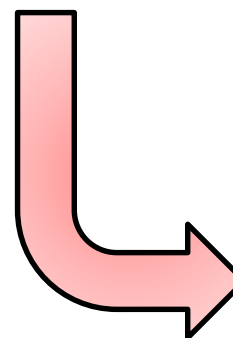
【現在の採取地点①】育成状況悪化
①MP-3付近 採取地点



【現在の採取地点②】変更無し
②環境管理棟前 採取地点



MP-3 代替地点③
③5・6号機北側付近



○新旧測定地点の作業状況について

条件1	場所	MP-3 付近（参考） （現採取地点①）	5・6号機北側付近 （新規採取地点③）	
条件2	本数	10本以上 （枯れた木も含む）	20本程度	◎
	樹高	5m以上	2～5m程度	◎
条件3	生育環境	葉は茶色がかっており、既に枯れた木も多い。	生育環境は良好である。	◎
条件4	採取作業	樹高の大きい個体が多く、採取困難である。	手の届く範囲で採取可能である。	◎
	その他	【デメリット】 ・足場が悪く、作業中の落下リスクが高い。また、生育環境の改善には大がかりな地点整備が必要となる。	【メリット】 ・通行車両が少なく、採取地点まで容易にアクセス可能。 ・継続的に採取可能。	◎

○新旧の松葉採取地点の並行観察測定結果について

	MP-3付近(参考) (現採取地点①)	5・6号機北側付近 (新規採取地点③)
2025年9月24日 (単位:Bq/kg生)	Cs-134 ND Cs-137 37	Cs-134 ND Cs-137 36
2025年11月13日 (単位:Bq/kg生)	Cs-134 ND Cs-137 41	Cs-134 ND Cs-137 33
2026年7月17日 (単位:Bq/kg生)	Cs-134 ND Cs-137 34	Cs-134 ND Cs-137 62

- ・ 新規採取地点の選定条件 1 ～ 4 を満足していること、また並行観察測定結果に有意な変動がないことから、次年度より「5・6号機北側付近」へ変更する。